

教科	国語	科目（単位数）	論理国語（3）	学年	3	類型	文系クラス
学習目標	(1) 文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら内容や書き手の意図を解釈する力をつける。・・・(知識及び技能) (2) 論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で、また、古典作品から読み取れる先人のものの見方、感じ方、考え方に触れる中で、自分の思いや考えを広げ、伝え合う力を高める。・・・(思考力、判断力、表現力) (3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。・・・(学びに向かう力、人間性等)						
評価基準	知識・技能	①定期考査（知識・技能を問う問題）7割 ②ノート・プリント1割 ③提出物（課題）2割					
	思考・判断・表現	①定期考査（思考、判断、表現を問う問題）7割 ②ノート・プリント1割 ③提出物（課題）2割					
	主体的に学習に向かう態度	①定期考査 2割 ②ノート・プリント 1割 ③提出物（課題）7割					
期間	単元（学習内容）		学習の到達目標				
～一学期中間 考査	評論 「『いき』の美学」 （尼ヶ嶋彬）		(知) 具体例の表す内容を的確に読み取ることができる。 (思) ・筆者の論旨を正確に理解し、それを踏まえた分析ができる。 ・選んだ具体例の共通点と相違点についての的確に説明できる。 (学) 進んで本文を検討し、考えを整理して学習課題に取り組む。				
	評論 「人工知能はなぜ椅子に座れないのか」(松田雄馬)		(知) 本文中の語句の意味を理解し、本文中の表現を自分でわかりやすく言い換えることができる。 (思) 「弱い人工知能」の「弱い」の意味をとらえたうえで、適切な具体例を挙げ、自分の考えも加えながら内容をまとめることができる。 (学) 文章の論理展開や表現を読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとする。				
	評論 「人はなぜ働かなくてはならないのか」 （小浜逸郎）		(知) 仮説を立て、検証しながら主張へと導く本文の構成を理解したうえで、筆者の主張を説明できる。 (思) 「人間が根源的にどのような存在であるか」「労働行為とはどのようなものか」の二点を明確に説明できる。 (学) 進んで本文を検討し、考えを整理して学習課題に取り組む。				
中間～期末考査	評論 「ズームアップ AI」と正しく向き合う」		(知) 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 (思) 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める。 (学) 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明する。				
	評論「『である』ことと『する』こと」 （丸山真男）		(知) 新聞記事の情報と本文の内容とを適切に関連づけ、筋道を立てて考えることができる。 (思) 価値倒錯の具体的事例をあげたうえで、それを再転倒させる道筋について、自分の考えを論理的に説明することができる。 (学) 進んで本文を検討し、考えを整理して学習課題に取り組む。				
	評論 「本歌取り」 （永田和宏）		(知) 具体例のどのような点が「他の表現を受け手が想起することではじめて成立する表現手法」となっているか、わかりやすい文章で説明できる。 (思) 新しく書かれた作品を通じて原作の新たな魅力を引き出しているものとして適切な例を複数提示することができる。 (学) 主体性をもって粘り強く考えを整理して学習課題に取り組む。				
二学期中間～ 期末考査	小説 「檸檬」 （梶井基次郎）		(知) レトリックや構成に着目し、フィクションとしての小説表現の豊かさや可能性を知ることができる。 (思) 主題の把握を通じて物事の多面的な価値を考えることができる。 (学) 小説を精読することで読解力を深め、小説に対する関心を高めることができる。				
	評論 我が国と諸外国の若者の意識に関する調査・希望を語る 内閣府・玄田有史		(知) グラフから読み取った内容と、文章から読み取った内容を適切に関連づけて考察することができる。 (思) グラフから読み取った「挑戦心」「主張性」「有用性からの解放」と本文から読み取った「挫折」「無駄」の必要性を関連づけて、「どのようなことが将来への希望につながるか」をまとめ、自分の考えを根拠とともにわかりやすく説明することができる。 (学) 主体性をもって粘り強く考えを整理して学習課題に取り組む。				
	使用教材（教科書・副教材）		教科書：「論理国語」（数研出版）。副教材：「名作を味わう定番小説選」（数研出版）「現代文単語 げんたん 改訂版」（いいずな書店）「大学入試に出た核心漢字2500＋語彙1000」（尚文出版）「新訂総合国語便覧」（第一学習社）、「論読現代文2」（浜島書店）				
学習方法	予習・授業・復習のサイクルの徹底。 （予習で、本文を読み、わからない言葉を辞書で引いてくる。授業で内容を深く読解し書き手の意図を考える）						
評価方法	(知) 考査・課題・プリント (思) 考査・ノート・プリント・課題等 (学) ノート・プリント・課題や授業への取り組み状況等						

教科	国語	科目（単位数）	論理国語（2）	学年	3	類型	理系クラス
学習目標	(1) 文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら内容や書き手の意図を解釈する力をつける。・・・(知識及び技能) (2) 論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で、また、古典作品から読み取れる先人のものの見方、感じ方、考え方に触れる中で、自分の思いや考えを広げ、伝え合う力を高める。・・・(思考力、判断力、表現力) (3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。・・・(学びに向かう力、人間性等)						
評価基準	知識・技能	①定期考査（知識・技能を問う問題）7割 ②ノート・プリント1割 ③提出物（課題）2割					
	思考・判断・表現	①定期考査（思考、判断、表現を問う問題）7割 ②ノート・プリント1割 ③提出物（課題）2割					
	主体的に学習に向かう態度	①定期考査 2割 ②ノート・プリント 1割 ③提出物（課題）7割					
期間	単元（学習内容）		学習の到達目標				
～一学期中間 考査	評論 「『いき』の美学」 (厄ヶ崎彬)		(知) 具体例の表す内容を的確に読み取ることができる。 (思) ・筆者の論旨を正確に理解し、それを踏まえた分析ができる。 ・選んだ具体例の共通点と相違点についての的確に説明できる。 (学) 進んで本文を検討し、考えを整理して学習課題に取り組む。				
中間～期末考査	評論 人工知能はなぜ椅子に座れないのか(松田雄馬)		(知) 本文中の語句の意味を理解し、本文中の表現を自分でわかりやすく言い換えることができている。 (思) 「弱い人工知能」の「弱い」の意味をとらえたうえで、適切な具体例を挙げ、自分の考えも加えながら内容をまとめることができている。 (学) 文章の論理展開や表現を読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとする。				
	評論 (國分功一郎)		(知) 「意志」「選択」「責任」「意識」という言葉を筆者がどのように説明しているかを文脈に沿って確認し、筆者の主張をとらえること (思) 「意志」と「選択」の混乱を、身近な体験を例に説明し、自分のものの考え方について考察を深めることができる。 (学) 進んで本文を検討し、考えを整理して学習課題に取り組む。				
～二学期中間 考査	評論「『である』ことと『する』こと」 (丸山真男)		(知) 新聞記事の情報と本文の内容とを適切に関連づけ、筋道を立てて考えることができる。 (思) 価値倒錯の具体的事例をあげたうえで、それを再転倒させる道筋について、自分の考えを論理的に説明することができる。 (学) 進んで本文を検討し、考えを整理して学習課題に取り組む。				
二学期中間～ 期末考査	評論 「本歌取り」 (永田和宏)		(知) 具体例のどのような点が「他の表現を受け手が想起することではじめて成立する表現手法」となっているか、わかりやすい文章で説明できる。 (思) 新しく書かれた作品を通じて原作の新たな魅力を引き出しているものとして適切な例を複数提示することができる。 (学) 主体性をもって粘り強く考えを整理して学習課題に取り組む。				
期末考査後	小説 「檸檬」 (梶井基次郎)		(知) レトリックや構成に着目し、フィクションとしての小説表現の豊かさや可能性を知ることができる。 (思) 主題の把握を通じて物事の多面的な価値を考えることができる。 (学) 小説を精読することで読解力を深め、小説に対する関心を高めることができる。				
使用教材(教科書・副教材)	教科書：『論理国語』（数研出版）。副教材：『名作を味わう定番小説選』（数研出版）『現代文単語 げんたん 改訂版』（いいずな書店）『大学入試に出た核心漢字2500＋語彙1000』（尚文出版）『新訂総合国語便覧』（第一学習社）、『論読現代文2』（浜島書店）						
学習方法	予習・授業・復習のサイクルの徹底。 (予習で、本文を読み、わからない言葉を辞書で引いてくる。授業で内容を深く読解し書き手の意図を考える)						
評価方法	(知) 考査・課題・プリント (思) 考査・ノート・プリント・課題等 (学) ノート・プリント・課題や授業への取り組み状況等						
	評論 「メディアのテロル」 (山田登世子)		(知) 本文の内容を踏まえて「メディアのテロル」の内容をわかりやすく説明することができる。 (思) 各メディアの利点・欠点を比較したうえで、「メディアのテロル」を実感したものとして適切な具体例を挙げ、メディアを利用する際の注意点について、本文の内容と関連づけながら自分の考えを深めることができる。 (学) 主体性をもって粘り強く考えを整理して学習課題に取り組む。				
	評論「意志と選択」 (國分功一郎)		(知) 「意志」「選択」「責任」「意識」という言葉を筆者がどのように説明しているかを文脈に沿って確認し、筆者の主張をとらえること (思) 「意志」と「選択」の混乱を、身近な体験を例に説明し、自分のものの考え方について考察を深めることができる。 (学) 進んで本文を検討し、考えを整理して学習課題に取り組む。				

教科	国語	科目（単位数）	古典探究（3）	学年	3	類型	文系
学習目標	(1) 文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら内容や書き手の意図を解釈する力をつける。・・・(知識及び技能) (2) 論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で、また、古典作品から読み取れる先人のものの見方、感じ方、考え方に触れる中で、自分の思いや考えを広げ、伝え合う力を高める。・・・(思考力、判断力、表現力) (3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。・・・(学びに向かう力、人間性等)						
評価基準	知識・技能	①定期考査（知識・技能を問う問題）7割 ②小テスト2割 ③提出物（ノート、課題）1割					
	思考・判断・表現	①定期考査（思考、判断、表現を問う問題）7割 ②小テスト1割 ③提出物（ノート、課題）2割					
	主体的に学習に向かう態度	①定期考査2割 ②小テスト1割 ③提出物（ノート、課題）7割					
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標					
年度初～1学期中間考査	古文編/ 「道長、伊周の競射」 (大鏡)	(知) 道長と道隆・伊周との関係を確認する。勝負の延長を要求した道隆の意図と、それを受けての道長の言動について、伊周と比較しつつ考える。 (思) 勝負の結果を受けての道隆の心境と、その後の展開を考える。 (学) 道長と伊周の人物像をそれぞれまとめる。					
	漢文編 文/「春夜宴桃李園序」李白	(知) ・本文を正しく音読する。・脚注・辞書等を参照して、語句・句法の意味・用法に注意しながら正確に現代語訳する。 (思) 現代語訳に即し、内容を理解する。各段落の要点を整理し、話の展開をまとめる。・文章の表現の上で、工夫された特徴とその効果について確認する。 (学) 本文に表された作者の人生観について確認する。 (学) 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。					
1学期中間～期末考査	古文編/ 夢よりもはかなき世の中を 「和泉式部日記」	(知) 本文を繰り返し読み、流麗な文体を味わう。 (思) 女の故宮への思い、帥宮との新たな恋に対する思いを理解する。 (学) 贈られた橘の花の意味や贈答される和歌の内容を正確に読み取る。					
	漢文編/史話 「十八史略」 赤壁之戦	(知) 第一段落から第四段落まで音読し、書き下し文にする。 (思) 第一段落と第二段落を「之」に注意して現代語訳し、孫権が曹操に敵対する決心をするまでの経緯を把握する。第三、四段落を現代語訳する。赤壁の戦いの経過を整理する。 (学) 積極的に本文の内容や構成、展開を的確に捉え、今までの学習を生かして、登場人物の行動や心情を読み取り、人物像についてまとめる。					
	古文編/物語 「源氏物語」 秋の上露【御法】	(知) 本文を読解する。和歌に注意して、登場人物の心情を読み取る。 (思) この場面における「露」について考察を深める。紫の上の生涯を振り返る。 (学) 「源氏物語」に関する知識を深める。					
2学期初～2学期中間考査	古文編/評論「源氏物語玉の小櫛」 ものあはれの論 (本居宣長)	(知) 第一段落を読み、本評論が提議する問題点を整理する。 (思) 論中に示された具体例と、作者によるその解釈を把握する。「ものあはれ」に関する作者の結論をまとめる。 (学) 「源氏物語」がどのように享受されてきたかを調べ、本教材の位置づけについて考察する。					
	漢文編/小説 「陶淵明集」 桃花源記	(知) 段落ごとに、脚注・辞書等を参照し、語句・句法の意味・用法に注意して正しく現代語訳し、内容を確認する。第一・二段落から対句表現を抜き出し、その表現効果を確認する。 (思) あらすじをまとめ、「桃花源記」の展開を理解する。「桃花源」とはどのような村か、簡条書きに整理して確認する。 (学) 「桃花源記」の作者陶潜が、この作品を書いた思いについて考え、話し合う。					
	漢文編/ 「[史記] 刺客列伝」 風蕭蕭兮易水寒	(知) 教科書の地図(一二一)や便覧等を利用し、戦国時代末期の状況について理解する。教科書の導入の文(一二〇)を読ませ、秦王・太子丹・田光・樊於期・荊軻の関係を整理する。 (思) 各段落の内容を理解し、第一段落から第三段落への場面の展開を理解する。旅立ちの際に荊軻が歌った歌の内容を理解し、歌にこめられた荊軻の心情を考える。 (学) 辞書を利用して「而」の訓読の仕方と意味を確認する。 辞書・便覧等を利用して、「また」と訓読する文字とその意味を確認する。					
2学期中間～期末考査	古文編/ 「去来抄」より 向井去来	(知) 「去来抄」の概略を聞き、芭蕉と去来、俳論と発句の関係を理解する。 (思) 芭蕉の発句を解釈する。尚白の「ふる」の非難と、それに対する去来の実景・実感重視の反論、芭蕉の伝統的詩情の論を理解する。去来の理解と芭蕉の感想を読み解く。 (学) 「去来抄」の俳論としての特色、芭蕉の教えの深さについて話し合う。					
	古文編/作り物語「落窪物語」 姫君の苦難	(知) この作品の成立時期、継子いじめの物語である内容についておおよそを理解する。 (思) 継母北の方の言葉を聞いた時の、少将と落窪の君の心情を把握する。父中納言の言動に対する、少将と落窪の君の心情を理解する。 (学) 後記や作品紹介などを利用したり、調べたりして、この物語の概要を把握する。					
使用教材(教科書・副教材)	教科書：「精選古典探求」（東京書籍）。副教材：「読解を大切にする体系古典文法丸訂版」（数研出版）、「三訂版体系漢文」（数研出版）、「新訂総合国語便覧」（第一学習社）、「Key&Point古文単語330」（いいずな書店）、「新訂版力をつける古典ステップ2」（数研出版）「改訂版要点プラス体系古典文法準拠ノート」（数研出版）、「改訂版体系漢文準拠ノート」（数研出版）・「論読現代文3」（浜島書店）・「プログレス古典総演習 発展編」（いいずな書店）						
学習方法	予習・授業・復習のサイクルの徹底。 (予習で、古文単語を辞書で引き、現代語訳をしてくる。授業で古典文法、漢文句法、現代語訳の仕方等を理解し、覚える。)						
評価方法	(思) 考査・ノート・課題等 (学) 小テスト・課題や授業への取り組み状況等						

教科	国語	科目(単位数)	古典探究(2)	学年	3	類型	理系
学習目標	(1) 文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら内容や書き手の意図を解釈する力をつける。・・・(知識及び技能) (2) 論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で、また、古典作品から読み取れる先人のものの見方、感じ方、考え方に触れる中で、自分の思いや考えを広げ、伝え合う力を高める。・・・(思考力、判断力、表現力) (3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。・・・(学びに向かう力、人間性等)						
評価基準	知識・技能	①定期考査(知識・技能を問う問題)7割 ②小テスト2割 ③提出物(ノート、課題)1割					
	思考・判断・表現	①定期考査(思考、判断、表現を問う問題)7割 ②小テスト1割 ③提出物(ノート、課題)2割					
	主体的に学習に向かう態度	①定期考査2割 ②小テスト1割 ③提出物(ノート、課題)7割					
期間	単元(学習内容)		学習の到達目標				
年度初～1学期 中間考査	古文編/ 「道長、伊周の競射」 (大鏡)		(知) 道長と道隆・伊周との関係を確認する。勝負の延長を要求した道隆の意図と、それを受けての道長の言動について、伊周と比較しつつ考える。 (思) 勝負の結果を受けての道隆の心境と、その後の展開を考える。 (学) 道長と伊周の人物像をそれぞれまとめる。				
	漢文編/ 文/「春夜宴桃李園序」李白		(知) ・本文を正しく音読する。・脚注・辞書等を参照して、語句・句法の意味・用法に注意しながら正確に現代語訳する。 (思) 現代語訳に即し、内容を理解する。各段落の要点を整理し、話の展開をまとめる。・文章の表現の上で、工夫された特徴とその効果について確認する。 (学) 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。				
1学期中間～ 期末考査	古文編/ 夢よりもほかなき世の中を 「和泉式部日記」		(知) 本文を繰り返し読み、流麗な文体を味わう。 (思) 女の故宮への思い、帥宮との新たな恋に対する思いを理解する。 (学) 贈られた橘の花の意味や贈答される和歌の内容を正確に読み取る。				
	漢文編/史話 「十八史略」 赤壁の戦		(知) 第一段落から第四段落まで音読し、書き下し文にする。 (思) 第一段落と第二段落を「之」に注意して現代語訳し、孫権が曹操に敵対する決心をするまでの経緯を把握する。第三、四段落を現代語訳する。赤壁の戦いの経過を整理する。 (学) 積極的に本文の内容や構成、展開を的確に捉え、今までの学習を生かして、登場人物の行動や心情を読み取り、人物像についてまとめる。				
2学期初～ 2学期 中間考査	古文編/評論「源氏物語玉の小櫛」 もののあはれの論 (本居宣長)		(知) 第一段落を読み、本評論が提議する問題点を整理する。 (思) 論中に示された具体例と、作者によるその解釈を把握する。「もののあはれ」に関する作者の結論をまとめる。 (学) 「源氏物語」がどのように享受されてきたかを調べ、本教材の位置づけについて考察する。				
	漢文編/小説 「陶淵明集」 桃花源記		(知) 段落ごとに、脚注・辞書等を参照し、語句・句法の意味・用法に注意して正しく現代語訳し、内容を確認する。第一・二段落から対句表現を抜き出し、その表現効果を確認する。 (思) あらすじをまとめ、「桃花源記」の展開を理解する。「桃花源」とはどのような村か、簡条書きに整理して確認する。 (学) 「桃花源記」の作者陶潜が、この作品を書いた思いについて考え、話し合う。				
	漢文編/ 『史記』刺客列伝 風蕭蕭兮易水寒		(知) 教科書の地図〔一〇一〕や便覧等を利用し、戦国時代末期の状況について理解する。教科書の導入の文〔一〇二〕を読ませ、秦王・太子丹・田光・樊於期・荊軻の関係を整理する (思) 各段落の内容を理解し、第一段落から第三段落への場面の展開を理解する。 旅立ちの際に荊軻が歌った歌の内容を理解し、歌にこめられた荊軻の心情を考える。 (学) 辞書を利用して「而」の訓読の仕方と意味を確認する。 辞書・便覧等を利用して、「また」と訓読する文字とその意味を確認する。				
2学期中間～ 期末考査	古文編/ 「去来抄」より 向井去来		(知) 『去来抄』の概略を聞き、芭蕉と去来、俳論と発句の関係を理解する。 (思) 芭蕉の発句を解釈する。尚白の「ふる」の非難と、それに対する去来の実景・実感重視の反論、芭蕉の伝統的詩情の論を理解する。 去来の理解と芭蕉の感想を読み解く (学) 『去来抄』の俳論としての特色、芭蕉の教えの深さについて話し合う。				
使用教材 (教科書・ 副教材)	教科書：「精選古典探求」(東京書籍)。副教材：「読解を大切にする体系古典文法九訂版」(数研出版)、「三訂版体系漢文」(数研出版)、「新訂総合国語便覧」(第一学習社)、「Key&Point古文単語330」(いづな書店)、「新訂版力をつける古典ステップ2」(数研出版)「改訂版要点プラス体系古典文法準拠ノート」(数研出版)、「改訂版体系漢文準拠ノート」(数研出版)・「論読現代文3」(浜島書店)・「プログレス古典総演習 発展編」(いづな書店)						
学習方法	予習・授業・復習のサイクルの徹底。 (予習で、古文単語を辞書で引き、現代語訳をしてくる。授業で古典文法、漢文句法、現代語訳の仕方等を理解し、覚える。)						
評価方法	(知) 考査・課題・小テスト (思) 考査・ノート・課題等 (学) 小テスト・課題や授業への取組み状況等						

令和6年度（2024年度） 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	地理歴史	科目（単位数）	地理探究（4）	学年	3	類型	文理共通
学習目標	「地理総合」で学んだ地理における基礎知識を土台にし、現代世界のさまざまな課題や動向について正しく理解し、的確に判断する能力を身につける。さらにその能力を日本を含めた現代世界の課題解決に主体的に取り組み、積極的に参加しようとする態度を身に着ける。						
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標				自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	○資源と産業 ・農林水産業	<ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域および日本国内における農林水産業の現状と問題点を把握する。 世界の諸地域の農林水産業やその移動について地理的相関関係を学習する。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期中間 ～期末考査	○資源と産業 ・資源・エネルギー ・工業 ・第3次産業	<ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域および日本国内における食料問題を理解し、その解決に向けた思考力を養う。 世界の諸地域および日本国内におけるエネルギー・鉱産資源および工業の現状と問題点を把握し、その解決に向けた思考力を養う。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期期末 ～2学期 中間考査	○人・モノ・金のつながり ・交通・通信 ・貿易・観光 ○人口、村落・都市 ・人口 ・村落と都市	<ul style="list-style-type: none"> 交通・通信に関わる諸事象の規則性、傾向性や、交通・通信に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 統計や資料等から、人口問題、居住・都市問題の現代の状況を把握し、位置関係によりそれが相互に関連し、地域によって問題点が異なることを理解する。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期中間 ～期末考査	○文化と国家 ○現代世界の地誌的考察 ・東アジア・東南アジア・南アジア ・西アジアと中央アジア・北アフリカとサハラ以南のアフリカ ・ヨーロッパ ・ロシア ・アングロアメリカ ・ラテンアメリカ ・オセアニア	<ul style="list-style-type: none"> 生活文化と言語・宗教に関わる諸現象、民族問題の原因や要因・解決に向けた取組について理解する。 世界の諸地域の自然と産業を踏まえ、生活と文化を理解し地域性を理解する。 日本との関わりや諸地域の問題点を学習する。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期期末 ～年度末	○現代世界におけるこれからの日本の国土像 ・現代日本に求められる国土像	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害に強い国土、変化する産業と持続可能な成長、人口減少社会の活性化、多文化共生社会の実現に関して、日本が抱える課題を理解し、その課題を多面的・多角的に考察、探究する。 学習をふまえ、日本の将来の国土増を展望する。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
使用教材 (教科書・副教材)	地理探究（二宮書店）、詳解現代地図（二宮書店） 新編地理資料（東京法令出版）、データブックオブ・ザ・ワールド2024年版（二宮書店）、サクシード地理（啓隆社）						
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> 教科書内容（言語や歴史、現代社会の状況等）の把握 地図帳での位置や統計の確認 統計表等、資料による理解 						
評価方法	定期考査成績7割（中間・期末等） 平常点3割（週1回程度の小テスト（Google forms）、提出物、ワークシート、授業活動への取り組み等）						

教科	地理歴史	科目（単位数）	日本史探究（4）	学年	3	類型	文系
学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。						
評価基準	知識・技能	考查7割～8割・平常点2割～3割（提出物等）					
	思考・判断・表現	考查7割～8割・平常点2割～3割（提出物等）					
	主体的に学習に向かう態度	考查7割～8割・平常点2割～3割（提出物等）					
期間	単元（学習内容）			学習の到達目標			
1 学期	第1章 日本文化のあけぼの 第2章 古墳とヤマト政権		<p>(知) 旧石器時代から古墳時代へと至るまでの、黎明期における日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解している。</p> <p>(思) 黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。</p> <p>(学) 黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について深く理解し、多面的・多角的に考察することを通じて、原始社会の特色を主体的に探究しようとする態度を養っている。</p>				
	第3章 律令国家の形成 第4章 貴族政治の展開		<p>(知) 律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解している。また、貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解している。</p> <p>(思) 中国・朝鮮半島との関係に着目して、古代の国家の形成の過程を多面的に考察し、諸事象の解釈等を根拠を示して表現している。また、東アジアとの関係の変化などに着目して、古代の国家・社会の変容を多面的に考察し、諸事象の解釈等を根拠を示して表現している。</p> <p>(学) 古代の日本における国家や社会、文化の形成及びそれらの変容について深く理解し、多面的・多角的に考察することを通じて、国家や社会、文化の特色を主体的に探究しようとする態度を養っている。</p>				
	第5章 院政と武士の躍進 第6章 武家政権の成立		<p>(知) 貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解している。また、武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解している。</p> <p>(思) 権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容を多面的に考察し、表現している。また、公武関係の変化、宋・元との交流などに着目して、中世の国家・社会の展開を多面的に考察し、諸事象の解釈等を根拠を示して表現している。</p> <p>(学) 古代から中世への転換期の日本における国家や社会、文化の変容について深く理解し、多面的・多角的に考察することを通じて、国家や社会、文化の特色を主体的に探究しようとする態度を養っている。</p>				
2 学期	第7章 武家社会の成長 第8章 近世の幕開け		<p>(知) 武家政権の変容、日明貿易の展開と、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解している。また、織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解している。</p> <p>(思) 社会や経済の変化、東アジアの国際情勢の変化、地域の多様性を多面的に考察し、表現している。また、村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的に考察し、表現している。</p> <p>(学) 中世及び中世から近世への転換期の日本における国家や社会、文化の変容について深く理解し、多面的・多角的に考察することを通じて、国家や社会、文化の特色を主体的に探究しようとする態度を養っている。</p>				
	第9章 幕藩体制の成立と展開 第10章 幕藩体制の動揺		<p>(知) 支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係などを基に、幕藩体制の確立や近世の社会と文化の特色を理解している。また、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺、学問の展開などを基に、幕藩体制の変容、庶民の生活の特色、近代化の基盤の形成を理解している。</p> <p>(思) 織豊政権との類似と相違、交通・流通・都市の発達などに着目して、幕藩体制の展開を多面的に考察し、表現している。また、社会・経済の仕組みの変化、幕府の政策の変化、国際情勢の変化などに着目して、幕藩体制の変容を多面的に考察し、表現している。</p> <p>(学) 近世の日本における国家や社会、文化の変容について深く理解し、多面的・多角的に考察することを通じて、国家や社会、文化の特色を主体的に探究しようとする態度を養っている。</p>				
	第11章 近世から近代へ 第12章 近代国家の成立		<p>(知) 対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の転換を理解している。また、明治維新、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定など、近代国家の成立について理解している。</p> <p>(思) 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的に考察し、表現している。また、アジアや欧米諸国との関係などに着目して、近代の政治の展開を多面的に考察し、表現している。</p> <p>(学) 近世から近代への転換期及び近代国家の確立期の日本における国家や社会、文化の変容について深く理解し、多面的・多角的に考察することを通じて、国家や社会、文化の特色を主体的に探究しようとする態度を養っている。</p>				
3 学期	第13章 近代国家の展開 第14章 近代の産業と生活		<p>(知) 日清・日露戦争、第一次世界大戦、政党政治などを基に、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解している。また、文明開化、産業革命、交通の整備、社会問題の発生などを基に、産業の発展の経緯と近代の文化の特色、大衆社会の形成を理解している。</p> <p>(思) アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化などに着目して、近代の政治の展開、対外政策などを多面的に考察し、表現している。また、欧米の思想・文化の影響、産業の発達などに着目して、工業化の進展、近代文化の形成を多面的に考察し、表現している。</p> <p>(学) 明治・大正期の日本における国家や社会、文化の変容について深く理解し、多面的・多角的に考察することを通じて、国家や社会、文化の特色を主体的に探究しようとする態度を養っている。</p>				
	第15章 恐慌と第二次世界大戦 第16章 占領下の日本		<p>(知) 恐慌、軍部の台頭、第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解している。また、占領政策、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復などを基に、我が国の再出発を理解している。</p> <p>(思) 国際社会との関係、政治・経済の変化、戦争の推移などに着目して、第二次世界大戦と日本の関わりを多面的に考察し、表現している。また、第二次世界大戦前後の政治や社会、国民生活の変化などに着目して、戦後の国家・社会の変容を多面的に考察し、表現している。</p> <p>(学) 第二次世界大戦前後の日本における国家や社会、文化の変容について深く理解し、多面的・多角的に考察することを通じて、国家や社会、文化の特色を主体的に探究しようとする態度を養っている。</p>				
	第17章 高度成長の時代 第18章 激動する世界と日本		<p>(知) 高度経済成長、社会・経済・情報の国際化などを基に、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解している。</p> <p>(思) グローバル化の進展の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、日本経済の発展、第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割を多面的に考察し、表現している。</p> <p>(学) 現代の日本における国家や社会、文化の変容について深く理解し、多面的・多角的に考察することを通じて、国家や社会、文化の特色を主体的に探究しようとする態度を養っている。</p>				
使用教材 (教科書・副教材)	教科書『詳説日本史 日本史探究』(山川出版社) 副教材『授業用 詳説日本史整理ノート 日本史探究』、(山川出版社)『最新日本史図表』(第一学習社)、『日本史用語集』(山川出版社) 『日本史重要語句 Check List』(啓隆社)						
学習方法	①用語集や問題集を活用し、重要歴史用語を把握し、内容を理解する。 ②基本的な知識を関連づけて、「歴史の流れ」や「時代の枠組み」を理解する。 ③図説の図版や史料、地図等を活用し、歴史を多角的に考察する。						
評価方法	(知) 考查7割～8割・平常点2割～3割（提出物等） (思) 考查7割～8割・平常点3割～2割（提出物等） (学) 考查7割～8割・平常点3割～2割（提出物等）						

教科	地理歴史	科目（単位数）	世界史探究（4）	学年	3	類型	文理共通
学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。						
評価基準	知識・技能	考查7割～8割・平常点2割～3割（提出物等）					
	思考・判断・表現	考查7割～8割・平常点2割～3割（提出物等）					
	主体的に学習に向かう態度	考查7割～8割・平常点2割～3割（提出物等）					
期間	単元（学習内容）		学習の到達目標				
1学期	第1章 文明の成立と古代文明の特質 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界		<p>（知）古代文明および東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義を理解している。</p> <p>（思）古代文明および東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>（学）古代文明および東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、諸地域相互の関わりに関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。</p>				
	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成		<p>（知）南アジアと東南アジア、西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、宗教や文化の特色、周辺諸地域との関係などを理解している。</p> <p>（思）南アジアと東南アジア、西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、表現している。</p> <p>（学）南アジアと東南アジア、西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、諸地域相互の関わりに関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。</p>				
	第5章 イスラム教の成立とヨーロッパ世界の形成 第6章 イスラム教の伝播と西アジアの動向		<p>（知）西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラムの伝播や海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。</p> <p>（思）諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、諸地域へのイスラムの拡大の要因、ヨーロッパの社会やなどを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>（学）諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域へのイスラムの拡大の要因に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。</p>				
	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国		<p>（知）ヨーロッパ封建社会とその展開、宋の社会とモンゴル帝国の拡大などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。</p> <p>（思）諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、諸地域相互のつながりなどに着目し、ヨーロッパの社会や文化の特色、中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>（学）諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、諸地域相互のつながりなどに着目し、ヨーロッパの社会や文化の特色、中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。</p>				
	第9章 大交易・大交流時代 第10章 アジアの諸帝国の繁栄		<p>（知）アジア海域での交易の興隆、明と日本・朝鮮の動向、スペインとポルトガルの活動などを基に、諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解している。</p> <p>（思）諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、アジア海域での交易の特徴、ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>（学）諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、諸地域相互のつながりなどに着目し、アジア海域での交易の特徴、ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。</p>				
	第11章 近世ヨーロッパ世界の動向 第12章 産業革命と館大西 洋革命		<p>（知）宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争、大西洋三角貿易の展開、科学革命と啓蒙思想などを基に、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解している。</p> <p>（思）大西洋沿岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、諸地域相互のつながりなどに着目し、産業革命や環大西洋革命の意味や意義、自由主義とナショナリズムの特徴、南北アメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>（学）大西洋沿岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、諸地域相互のつながりなどに着目し、産業革命や環大西洋革命の意味や意義、自由主義とナショナリズムの特徴、南北アメリカ大陸の変容に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。</p>				
	第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 第14章 アジア諸地域の動 揺 第15章 帝国主義とアジアの民族運動		<p>（知）第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争、アジア諸国の変革などを基に、世界分割の進展とナショナリズムの高まりを構造的に理解している。</p> <p>（思）列強の対外進出とアジア・アフリカの動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、諸地域相互のつながりなどに着目し、世界経済の構造的な変化、列強の帝国主義政策の共通点と相違点、アジア諸国のナショナリズムの特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>（学）列強の対外進出とアジア・アフリカの動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、諸地域相互のつながりなどに着目し、世界経済の構造的な変化、列強の帝国主義政策の共通点と相違点、アジア諸国のナショナリズムの特徴に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。</p>				
	第16章 第一次世界大戦と世界の変容 第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 第18章 冷戦と第三世界の台頭 第19章 冷戦の終結と今日の世界		<p>（知）第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成、アメリカ合衆国の台頭、アジア・アフリカの動向とナショナリズムなどを基に、第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。</p> <p>（思）世界恐慌と国際協調体制の動揺に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、諸地域相互のつながりなどに着目し、世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点、ファシズムの特徴、第二次世界大戦に向かう国際関係の変化の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>（学）世界恐慌と国際協調体制の動揺に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、諸地域相互のつながりなどに着目し、世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点、ファシズムの特徴、第二次世界大戦に向かう国際関係の変化の要因に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。</p> <p>（知）集団安全保障と冷戦の展開、アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き、平和共存と多極化の進展、冷戦の終結と地域紛争の頻発などを基に、紛争解決の取組と課題を理解している。</p> <p>（思）国際機構の形成と紛争に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、国際連盟と国際連合との共通点と相違点、冷戦下の紛争解決と冷戦後の紛争解決との共通点と相違点、紛争と経済や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>（学）国際機構の形成と紛争に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、国際連盟と国際連合との共通点と相違点、冷戦下の紛争解決と冷戦後の紛争解決との共通点と相違点、紛争と経済や社会の変化との関連性に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。</p>				
使用教材 (教科書・副教材)	教科書『詳説世界史 世界史探究』(山川出版社) 副教材『最新世界史図説 タベストリー』(帝国書院)、『世界史用語集』(山川出版社) 『世界史重要語句 Check List』(啓隆社)						
学習方法	①用語集や問題集を活用し、重要歴史用語を把握し、内容を理解する。 ②基本的な知識を関連づけて、「歴史の流れ」や「時代の枠組み」を理解する。 ③図説の図版や史料、地図等を活用し、歴史を多角的に考察する。						
評価方法	(知) 考查7割～8割・平常点2割～3割（提出物等） (思) 考查7割～8割・平常点3割～2割（提出物等） (学) 考查7割～8割・平常点3割～2割（提出物等）						

令和6年度（2024年度） 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	数学	科目（単位数）	数学Ⅱ(1)、数学B(2)、数学C(2)	学年	3	類型	文系コース
学習目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、次のような数学的に考える資質・能力を身に付ける ・基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能 ・数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力 ・図形の構成要素間の関係に着目し、論理的に考察し表現する力 ・社会の事象などから設定した問題について、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度 ・粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度						
評価基準	知識・技能	調査7割～8割・小テスト2割～1割・課題等2割～1割					
	思考・判断・表現	調査7割～8割・ノート（プリント）等3割～2割					
	主体的に学習に向かう態度	調査7割～8割・小テスト2割～1割・課題や授業への取り組み状況等2割～1割					
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標					
年度初～1学期 中間調査	数学ⅡABC総復習	(知) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 (思) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する。 (学) 数学のよさを認識し、せっきょ0区的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする。					
1学期中間～期末調査	数学ⅡABC総復習	(知) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 (思) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する。 (学) 数学のよさを認識し、せっきょ0区的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする。					
1学期期末～2学期 中間調査	数学ⅡABC総復習	(知) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 (思) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する。 (学) 数学のよさを認識し、せっきょ0区的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする。					
2学期中間～学年末 調査	数学ⅡABC総復習	(知) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 (思) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する。 (学) 数学のよさを認識し、せっきょ0区的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする。					
学年末～年度末	数学ⅡABC総復習	(知) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 (思) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する。 (学) 数学のよさを認識し、せっきょ0区的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする。					
使用教材 (教科書・副教材)	教科書：「高等学校数学Ⅱ・A・B・C」（数研出版）、副教材：「チャート式基礎からの数学Ⅱ+B および 数学C」						
学習方法	予習・授業・復習のサイクルの徹底。 (教科書の練習問題等を自分で解けるようになるまで取り組む。)						
評価方法	(知) 調査・小テスト・課題等 (思) 調査・ノート（プリント）等 (学) 調査・小テスト・課題や授業への取り組み状況等						

令和6年度（2024年度） 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	数学	科目(単位数)	数学Ⅲ(3)、数学B(2)、数学C(2)	学年	3	類型	理系コース
学習目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、次のような数学的に考える資質・能力を身に付ける ・基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能 ・数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力 ・図形の構成要素間の関係に着目し、論理的に考察し表現する力 ・社会の事象などから設定した問題について、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度 ・粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度						
評価基準	知識・技能	検査7割～8割・小テスト2割～1割・課題等2割～1割					
	思考・判断・表現	検査7割～8割・ノート(プリント)等3割～2割					
	主体的に学習に向かう態度	検査7割～8割・小テスト2割～1割・課題や授業への取り組み状況等2割～1割					
期間	単元(学習内容)	学習の到達目標					
年度初～ 1学期 中間検査	数学Ⅲ 第3章 微分法	(知) 微分の可能性、関数の積及び商の導関数について理解し、関数の和、差、積及び商の導関数を求めることができる。 (思) 関数の連続性と微分可能性、関数とその導関数や二次導関数の関係について考察する。 (学) 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。					
	数学Ⅲ 第4章 微分法の応用	(知) 導関数を用いて、いろいろな曲線の接線の方程式を求めたり、いろいろな関数の値の増減、極大・極小、グラフの凹凸などを調べたり (思) 関数の局所的な変化や大域的な変化に着目し、事象を数学的に捉え問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や (学) 数学の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとする。					
1学期中間 ～期末検査	数学Ⅲ 第5章 積分法とその応用	(知) 置換積分法及び部分積分法について理解し、簡単な場合について、それらを用いて不定積分や定積分を求めることができる。 (思) 関数の式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりして、いろいろな関数の不定積分や定積分を求める方法について考察する。 (学) 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。					
	数学ⅠⅡⅢABC総復習	(知) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 (思) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する。 (学) 数学のよさを認識し、せっきょ0区的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする。					
1学期期末 ～2学期 中間検査	数学ⅠⅡⅢABC総復習	(知) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 (思) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する。 (学) 数学のよさを認識し、せっきょ0区的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする。					
2学期中間 ～学年末 検査	数学ⅠⅡⅢABC総復習	(知) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 (思) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する。 (学) 数学のよさを認識し、せっきょ0区的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする。					
学年末 ～年度末	数学ⅠⅡABC総復習	(知) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 (思) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する。 (学) 数学のよさを認識し、せっきょ0区的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする。					
使用教材 (教科書・副教材)	教科書：「高等学校数学Ⅲ・A・B・C」(数研出版)、副教材：「チャート式基礎からの数学Ⅱ+B および 数学Ⅲ+C」						
学習方法	予習・授業・復習のサイクルの徹底。 (教科書の練習問題等を自分で解けるようになるまで取り組む。)						
評価方法	(知) 検査・小テスト・課題等 (思) 検査・ノート(プリント)等 (学) 検査・小テスト・課題や授業への取り組み状況等						

教科	理科	科目(単位数)	化学(4)	学年	3	類型	理系 4・5・6組
学習目標	①無機物質の性質や反応を観察、実験などを通して探究し、元素の性質が周期表に基づいて整理できることを理解する。 ②有機化合物の性質や反応を観察、実験などを通して探究し、有機化合物の分類と特徴を理解する。 ③高分子化合物の性質や反応を観察、実験などを通して探究し、合成高分子化合物と天然高分子化合物の特徴を理解する。						
評価基準	知識・技能	①定期考査の知識・技能：6割 ②小テスト：2割 ③各課題：2割					
	思考・判断・表現	①定期考査の思考・判断・表現：6割 ②小テスト・ワークシート：2割 ③各課題：2割					
	主体的に学習に向かう態度	①定期考査：4割 ②小テスト・ワークシート：3割 ③各課題：3割					
期間	単元(学習内容)		学習の到達目標				
1学期中間考査	5編 有機化合物 3章 アルコールと関連化合物 4章 芳香族化合物 5章 有機化合物と人間生活		【知】	①有機化合物についての実験などを通して、官能基をもつ化合物の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 ②有機化合物についての実験などを通して、芳香族化合物の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。			
			【思】	①官能基をもつ化合物について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 ②芳香族化合物について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。			
			【態】	①官能基をもつ化合物について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 ②芳香族化合物について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
1学期期末考査	6編 高分子化合物 1章 天然高分子化合物 2章 合成高分子化合物 3章 高分子化合物と人間生活		【知】	高分子化合物についての実験などを通して、その基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。			
			【思】	高分子化合物について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。			
			【態】	高分子化合物について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
2学期中間考査	4編 無機物質 1章 周期表と元素 2章 非金属元素の単体と化合物 3章 典型金属元素の単体と化合物 4章 遷移元素の単体と化合物 5章 無機物質と人間生活		【知】	①無機物質についての実験などを通して、非金属元素の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 ②無機物質についての実験などを通して、典型金属元素の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 ③無機物質についての実験などを通して、遷移元素の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。			
			【思】	①非金属元素について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 ②典型金属元素について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 ③遷移元素について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。			
			【態】	①非金属元素について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 ②典型金属元素について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 ③遷移元素について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
2学期期末考査	・理論分野総合演習 ・無機分野総合演習 ・有機分野総合演習		【知】	化学が果たす役割についての実験などを通して、その基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。			
			【思】	化学が果たす役割について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している			
			【態】	化学が果たす役割について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
学年末考査	・理論分野総合演習 ・無機分野総合演習 ・有機分野総合演習		【知】	化学が果たす役割についての実験などを通して、その基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。			
			【思】	化学が果たす役割について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している			
			【態】	化学が果たす役割について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
使用教材(教科書・副教材)	教科書：「化学 Vol.1 理論編」「化学 Vol.2 物質編」（東京書籍）、副教材：「リードα化学基礎+化学(数研出版)」						
学習方法	授業・復習のサイクル(教科書や問題集の基本問題を自分で解けるようになるまで取り組む)。						
評価方法	(知) 定期考査・確認テスト・章末テスト (思) 定期考査・実験プリント(レポート)・課題プリントなど (態) 確認テスト・課題や授業への取り組み状況等						

令和6年度 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	理科	科目(単位数)	物理(4)	学年	3	類型	理系
学習目標	物理や物理現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物理的な事象・現象を科学的に探究するために必要な、次のような資質・能力を育成する。 (1) 物理の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力 (3) 物理的な事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度						
評価基準	知識・技能	調査7割～8割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況2割～3割					
	思考・判断・表現	調査7割～8割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況2割～3割					
	主体的に学習に向かう態度	調査7割～8割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況2割～3割					
期間	単元(学習内容)	学習の到達目標					
年度初～1学期中間考査	総合物理②第3編 波 第3章 光	(知) 光は進んでいくとき、反射、屈折、分散、散乱を行うこと、またその際にどのような法則が成り立っているのかを理解している。 レンズと鏡によって生じる像を作図することができる。また、写像公式を理解し、式を利用して像のできる位置や像の大きさなどを求めることができる。 ヤングの実験、回折格子、薄膜、くさび形空気層、ニュートンリングのそれぞれの光の干渉条件を理解している。					
		(思) 光が2つの媒質の境界面で屈折するようすの図から、どちらの媒質のほうが光が伝わるのが速いか判断できる。 凸レンズの焦点距離の外側に物体(光源)を置くと、どのような像が生じるか説明することができる。 ヤングの実験で光が強めあうときの条件を説明することができる。					
		(学) 光が関係する現象に興味をもち、光についての基本事項と光の進み方について理解しようとしている。 レンズや鏡に興味をもち、それによってどのような像ができるかについて理解しようとしている。 シャボン玉やCD・DVDが色づいて見えることについて興味をもち、光の干渉や回折の現象を理解しようとしている。					
1学期中間～期末考査	総合物理②第4編 電気と磁気 第1章 電場 第2章 電流	(知) 電気量保存の法則やクーロンの法則について理解し、関係式を正しく適用できる。 電場とはどのようなものかを理解し、電荷が電場から受ける力や電場の強さの式を正しく適用できる。 電位について理解し、さまざまな関係式を正しく適用できる。 抵抗を直列、並列に接続したとき、電流、電圧がどのような関係にあるかを理解している。また、これらのことを踏まえて、電圧計、電流計や分流器、倍率器の正しい使用方法についても理解できている。					
		(思) 静電誘導及び誘電分極の現象について、それぞれ説明できる。 電荷間距離と電場の強さの関係のグラフの形状を、電場の性質から考察できる。 電場はベクトル量、電位はスカラー量であることを理解し、説明できる。 測定する抵抗値の大きさによって、どのような電気回路がより正しい値を測定できるかを判断できる。					
		(学) 身近な現象から、静電気の現象に興味・関心をもち、さまざまな静電気現象について理解しようとしている。 電気的な力が及ぶ空間である電場について、興味・関心を示している。 電気回路の各抵抗への電流が流れる量や電圧の加わり方がどのようになるかに興味を示している。					
1学期期末～2学期中間考査	総合物理②第4編 電気と磁気 第3章 電流と磁場 第4章 電磁誘導と電磁波	(知) 磁気量について、磁気力に関するクーロンの法則や磁場の定義の中でどのように使われているかを通して理解している。 フレミングの左手の法則について理解している。 さまざまな電磁誘導の事例について理解している。また、関係式も適用できる。 交流電圧の公式を理解している。また、交流電流・交流電圧の実効値の意味を理解している。					
		(思) フレミングの左手の法則を用いて、電流の流れている導線がどの向きに力を受けるかを判断することができる。 ある荷電粒子の記述について、これまでの学習内容を踏まえて考え、答えることができる。 レンズの法則について説明できる。 コイルを回転させる速さと誘導起電力の大きさの関係を説明できる。					
		(学) 導線に電流を流すと導線のまわりに磁場ができることに驚きと興味を示し、より深くこのことについて学ぼうとしている。 オーロラなどのローレンツ力の例に興味・関心を示し、ローレンツ力について理解しようとしている。 身近にある自転車の発電機の原理はどのようにになっているかということに興味・関心をもっている。また、交流そのものについての知識をもとうとする意欲がある。					
2学期中間～期末考査・年度末	総合物理②第5編 原子 第1章 電子と光 第2章 電子と原子核	(知) 光電効果について理解している。 X線の性質、特徴について理解している。 ボーア理論(量子条件・振動条件)について理解している。 放射性崩壊によって、原子核がどのように変化するか理解している。					
		(思) 光電効果の原理を踏まえて、考え、説明することができる。 X線回折とX線のコンプトン効果について、波動性と粒子性を踏まえて説明できる。 電子のエネルギー準位について理解し、説明できる。 α 線、 β 線、 γ 線の正体や、 α 崩壊、 β 崩壊のしくみを説明できる。					
		(学) 光が粒子性をもつことに興味・関心を示し、光電効果の原理などを理解しようとしている。 健康診断の検査などで使われているX線とはどのようなものであるかに関心を示し、理解しようとしている。 原子と原子核の大きさの差から原子に興味・関心を示し、原子の構造とエネルギー準位についても理解しようとしている。 「放射線」と「放射性物質」ではどのように意味が異なるかに、興味・関心を示し、放射線とその性質について理解しようとしている。					
使用教材(教科書・副教材)	教科書:「総合物理②」(数研出版) 資料集:「新課程フォトサイエンス物理図録」(数研出版) 問題集:「セミナー物理基礎+物理2024」(第一学習社) 「進研WINSTEP」(Learns)						
学習方法	授業中における課題と復習に重点的に取り組むこと。予習を課していない分、授業への取り組み方で大きく成績が変動してしまうので、積極的に授業に参加すること。定期的に小テストや課題を課し、評価する。						
評価方法	(知) 調査7割～8割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況2割～3割 (思) 調査7割～8割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況2割～3割 (学) 調査7割～8割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況2割～3割						

令和6年度 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	理科	科目 (単位数)	実践生物基礎 (2)	学年	3	類型	文系
学習目標	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見直しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な、次のような資質・能力を育成する。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力 (3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度 (4) 生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度						
評価基準	知識・技能	考査7割～8割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況2割～3割					
	思考・判断・表現	考査7割～8割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況2割～3割					
	主体的に学習に向かう態度	考査7割～8割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況2割～3割					
期間	単元 (学習内容)		学習の到達目標				
～1学期 中間考査	【総合演習】 記述式		(知) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようとする。				
～1学期 期末考査			(思) 観察、実験などを行い、科学的に探究しようとする。				
～2学期 中間考査			(学) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を身に付けようとする。				
～2学期 期末考査	【総合演習】 マーク式		(知) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようとする。				
～3学期 学年末考査			(思) 観察、実験などを行い、科学的に探究しようとする。				
～年度末			(学) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を身に付けようとする。				
使用教材 (教科書・副 教材)	教科書：「生物基礎」(数研出版) 資料集：「新課程フォトサイエンス生物図録」(数研出版) 問題集：「リードLightノート生物基礎」「チャック&演習 生物基礎」(数研出版) 「直前演習 生物基礎」(ラーンズ・ベネッセ)						
学習方法	授業・復習を中心に行う。授業は解説と問題演習を5:5で行う。問題演習を通して自らの課題を把握し、課題解決に向けて学習する態度を持ち授業に臨むこと。分からないところをそのままにせず、積極的に質問すること。定期的小テストやレポートを課し、評価する。						
評価方法	(知) 考査7割～8割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況2割～3割 (思) 考査7割～8割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況2割～3割 (学) 考査7割～8割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況2割～3割						

令和6年度 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	理科	科目(単位数)	地学基礎(2)	学年	3	類型	文系
学習目標	地球や地球を取り巻く環境に関する基本的な概念や原理・法則を理解させ、地学的な探究の方法を身につけさせるようにするとともに、地球の自然環境と日常生活や社会との関わりを考えることができるようにする。						
評価基準	知識・技能	考查7割～8割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況2割～3割					
	思考・判断・表現	考查7割～8割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況2割～3割					
	主体的に学習に向かう態度	考查7割～8割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況2割～3割					
期間	単元(学習内容)		学習の到達目標				
～1学期 中間考查	第3編 大気と海洋 第1章 地球の熱収支 2 海水の運動 3 日本の天気と気象災害		<p>(知) 大気の大循環と海水の大循環の関係を理解する。</p> <p>(思) 熱の輸送と大気や海水の大循環の関係をを通して風吹き方やについて各季節の特徴を考察することができる。</p> <p>(学) 日常生活や社会と関連させて、科学的な見方や考え方で課題を解決しようとする。</p>				
～1学期 期末考查	第4編 地球の環境 第1章 地球の環境と日本の自然環境 1 気候の自然変動 2 人間活動による環境変化 3 日本の自然環境		<p>(知) エルニーニョ、温暖化、オゾン層の破壊などの環境変化について理解する。</p> <p>(思) 人間活動による環境変化が今後に及ぼす影響について考察することができる。</p> <p>(学) 日常生活や社会と関連させて、科学的な見方や考え方で課題を解決しようとする。</p>				
～2学期 中間考查	第5編 太陽系と宇宙 第1章 太陽系と太陽 1 太陽系の天体 2 太陽 3 太陽系の誕生と現在の地球		<p>(知) 地球型と木星型の特徴や太陽の概観・活動と地球への影響を理解する。</p> <p>(思) 太陽系の誕生を通して惑星の内部構造や現在の環境を考察することができる。</p> <p>(学) 日常生活や社会と関連させて、科学的な見方や考え方で課題を解決しようとする。</p>				
～2学期 期末考查	第2章 宇宙の誕生 1 宇宙の誕生		<p>(知) 星の基礎的な性質や銀河系の構造を理解する。</p> <p>(思) 銀河の分布と宇宙の誕生から膨張する姿について考察することができる。</p> <p>(学) 日常生活や社会と関連させて、科学的な見方や考え方で課題を解決しようとする。</p>				
～年度末	総合演習		<p>(知) 既習内容の発展的問題の演習を行い、地学基礎に対する理解を深める。</p> <p>(思) 既習内容の発展的問題の演習を行い、人類の存在について考察することができる。</p> <p>(学) 日常生活や社会と関連させて、科学的な見方や考え方で課題を解決しようとする。</p>				
使用教材 (教科書・副 教材)	教科書：「地学基礎」(数研出版) 資料集：「ニューステージ新訂地学図表」(浜島) 問題集：「地学基礎研究ノート」(博洋社)						
学習方法	授業・復習を中心に行う。授業は解説と問題演習を5:5で行う。問題演習を通して自らの課題を把握し、課題解決に向けて学習する態度を持ち授業に臨むこと。分からないところをそのままにせず、積極的に質問すること。定期的に小テストやレポートを課し、評価する。						
評価方法	(知) 考查7割～8割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況2割～3割 (思) 考查7割～8割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況2割～3割 (学) 考查7割～8割、小テスト・課題・授業等への取り組み状況2割～3割						

教科	体育	科目（単位数）	体育（3）	学年	3	類型	全クラス
学習目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力の育成を目指す。						
評価基準	知識・技能	①定期考査（知識）②実技テスト（技能）					
	思考・判断・表現	①学習シート ②授業観察					
	主体的に学習に向かう態度	①授業観察 ②学習シート					
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標					
1 学期	体づくり運動 （ラジオ体操、青年体操）	【知】体力の構成要素は、健康に生活するための体力と運動を行うための体力に密接に関係していることを理解する。 【思】仲間との話合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けること。 【感】体づくりの運動の学習に自主的に取り組もうとすること。					
	ダンス	【知】いろいろな動きと関連させた柔軟運動やリズムミカミな全身運動をすることで、結果として体力を高めることができることを理解する。 【技】リズムの取り方や動きの連続のさせ方を組み合わせて、動きに変化を付けて踊ることができる。 【思】作品創作や発表会に向けた仲間と話し合う場面で、合意形成するための関わり方を見付け仲間に伝えること。 【感】ダンスの学習に自主的に取り組もうとすること。					
	水泳（複数泳法）	【知】水泳の各種目で用いられる技術の名称があり、それぞれの技術には、効率的に泳ぐためのポイントがあることを理解する。 【技】手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり、速く泳いだりすることができる。 【思】合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を話したり、書き出したりすること。 【感】水泳の学習に自主的に取り組もうとすること。					
	球技	【知】技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する。 【技】ゴール型・・・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開できる。 【技】ネット型・・・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 【技】ベースボール型・・・状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる。 【思】合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を話したり、書き出したりすること。 【感】球技の学習に自主的に取り組もうとすること。					
	体育理論	【知】運動やスポーツの技能と体力及びスポーツによる障害について理解する。					
2 学期	球技	【知】技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する。 【技】ゴール型・・・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開できる。 【技】ネット型・・・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 【技】ベースボール型・・・状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる。 【思】合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を話したり、書き出したりすること。 【感】球技の学習に自主的に取り組もうとすること。					
	陸上競技 （長距離走）	【知】技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する。 【技】自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ったり、タイムを短縮したり、競争したりできる。 【思】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【感】陸上競技の学習に自主的に取り組もうとしている。					
	体育理論	【知】スポーツの技術と技能及びその変化、運動やスポーツの技能の上達過程について理解する。					
3 学期	球技	【知】技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する。 【技】ゴール型・・・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開できる。 【技】ネット型・・・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 【技】ベースボール型・・・状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる。 【思】合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を話したり、書き出したりすること。 【感】球技の学習に自主的に取り組もうとすること。					
	体育理論	【知】運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方を理解する。					

教科	英語	科目（単位数）	英語コミュニケーションⅢ (文系4・理系4)	学年	3	類型	全クラス
学習目標	外国語の習得を通して生徒の人的成長を手助けし、自他の言語や文化に対する関心を高める。確かな読解力を身につけ、読み取った内容を基に思考し、表現力を養う。						
評価基準	知識・技能	①定期考査の知識・技能：6割 ②小テスト：1割 ③各課題・提出物：2割 ④パフォーマンステスト：1割					
	思考・判断・表現	①定期考査の思考・判断・表現：6割 ②小テスト：1割 ③各課題・提出物：2割 ④パフォーマンステスト：1割					
	主体的に学習に向かう態度	①定期考査：4割 ②小テスト：2割 ③各課題・提出物：3割 ④パフォーマンステスト：1割					
期間	単元（学習内容）		学習の到達目標				
1 学期	CHAPTER 1 The Power of Poetry		【知】本章で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。 【思】本文の内容を理解して、質問に答えることができる。 【学】理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測するなど、粘り強く読むことができる。				
	CHAPTER 2 What Makes a Good Life?		【知】本章で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。 【思】本文の内容を理解して、質問に答えることができる。 【学】理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測するなど、粘り強く読むことができる。				
	CHAPTER 3 Mindset		【知】本章で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。 【思】本文の内容を理解して、質問に答えることができる。 【学】理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測するなど、粘り強く読むことができる。				
	CHAPTER 4 The Gut-Brain Connection		【知】本章で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。 【思】本文の内容を理解して、質問に答えることができる。 【学】理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測するなど、粘り強く読むことができる。				
	CHAPTER 5 Wa "Holy Harmony"		【知】本章で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。 【思】本文の内容を理解して、質問に答えることができる。 【学】理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測するなど、粘り強く読むことができる。				
2 学期	CHAPTER 6 The Scientific Method		【知】本章で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。 【思】本文の内容を理解して、質問に答えることができる。 【学】理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測するなど、粘り強く読むことができる。				
	CHAPTER 7 How Associative Memory Works: the Marvels of Priming		【知】本章で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。 【思】本文の内容を理解して、質問に答えることができる。 【学】理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測するなど、粘り強く読むことができる。				
	CHAPTER 8 What You Eat May Affect Your Environment		【知】本章で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。 【思】本文の内容を理解して、質問に答えることができる。 【学】理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測するなど、粘り強く読むことができる。				
	CHAPTER 9 Mass Extinction: Why Are They Gone?		【知】本章で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。 【思】本文の内容を理解して、質問に答えることができる。 【学】理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測するなど、粘り強く読むことができる。				
3 学期	CHAPTER 10 The Soul of Meiji		【知】本章で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。 【思】本文の内容を理解して、質問に答えることができる。 【学】理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測するなど、粘り強く読むことができる。				
	CHAPTER 11 A Forest on Caffeine?		【知】本章で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。 【思】本文の内容を理解して、質問に答えることができる。 【学】理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測するなど、粘り強く読むことができる。				
	CHAPTER 12 Fahrenheit 451		【知】本章で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。 【思】本文の内容を理解して、質問に答えることができる。 【学】理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測するなど、粘り強く読むことができる。				
使用教材 (教科書・副教材)	教科書：「New RaysⅢ」（いわずな書店）、副教材：単語帳「Database4500」（桐原書店）、参考書「Vision Quest 総合英語」（啓林館）、NEO 現代を読む（いわずな書店）、Hyper Listening（桐原書店）、Listening Coach（いわずな書店）						
学習方法	予習・授業・復習のサイクルの徹底。週末課題の活用。						
評価方法	(知) 考査・授業時の観察（ノート・レポート等）・スピーキングテスト、ライティングテスト (思) 考査・授業時の観察（ノート・レポート）・ディスカッション、ディベート (学) 考査・授業での観察（ノート・レポート等）・リスニングテスト						

教科	英語	科目（単位数）	論理表現Ⅲ（文系2・理系2）	学年	3	類型	全クラス
学習目標	外国語の習得を通して生徒の人的成長を手助けし、自他の言語や文化に対する関心を高める。 確かな単語・文法力を身につけ、自らの考えを話したり、書いたりして相手に伝える力を養う。						
評価基準	知識・技能	①定期考査の知識・技能：6割 ②各課題・提出物：3割 ③パフォーマンステスト：1割					
	思考・判断・表現	①定期考査の思考・判断・表現：6割 ②各課題・提出物：3割 ④パフォーマンステスト：1割					
	主体的に学習に向かう態度	①定期考査：4割 ②各課題・提出物：3割 ④パフォーマンステスト：3割					
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標					
1 学期	L1 A City Worth Visiting 街を紹介する	【知】受動態の用法・意味を理解している。 【思】自分の町の経験、制服のメリット・デメリットについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表している。 【学】自分の町の経験、制服のメリット・デメリットについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表しようとしている。					
	L2 Our Hometowns 生まれ育った街について話す	【知】動詞の用法・意味を理解している。 【思】自分の町の経験、制服のメリット・デメリットについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表している。 【学】自分の町の経験、制服のメリット・デメリットについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表しようとしている。					
	L3 What Makes a City Attractive? 魅力ある街づくりの提案	【知】助動詞の用法・意味を理解している。 【思】魅力ある街づくりのメリット・デメリットについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表している。 【学】魅力ある街づくりのメリット・デメリットについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表しようとしている。					
	L4 How Do You Spend Your Time? 時間の過ごし方	【知】比較級の用法・意味を理解している。 【思】時間の過ごし方のメリット・デメリットについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表している。 【学】時間の過ごし方のメリット・デメリットについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表しようとしている。					
	L5 Trying Something New スポーツを始める	【知】比較級（差の程度）の用法・意味を理解している。 【思】スポーツを始めることのメリット・デメリットについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表している。 【学】スポーツを始めることのメリット・デメリットについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表しようとしている。					
	L6 The Art of Translation 翻訳が伝えるもの	【知】副詞と形容詞の用法・意味を理解している。 【思】制服着用の経験、制服のメリット・デメリットについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表している。 【学】制服着用の経験、制服のメリット・デメリットについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表しようとしている。					
2 学期	L7 Combatting Climate Change 気候変動について考える	【知】受動態の用法・意味を理解している。 【思】気候変動についてのメリット・デメリットについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表している。 【学】気候変動についてのメリット・デメリットについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表しようとしている。					
	L8 Future Energy Sources これからのエネルギー源	【知】関係代名詞の用法・意味を理解している。 【思】これからのエネルギー源についてのメリット・デメリットについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表している。 【学】これからのエネルギー源についてのメリット・デメリットについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表しようとしている。					
	L9 Discussing the Environment 環境問題について話し合う	【知】不定詞（形容詞用法）の用法・意味を理解している。 【思】環境問題についてのメリット・デメリットについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表している。 【学】環境問題についてのメリット・デメリットについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表しようとしている。					
	L10 Globalization and Immigration グローバル化のためにできること	【知】不定詞（名詞用法）の用法・意味を理解している。 【思】グローバル化のためにできることのメリット・デメリットについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表している。 【学】グローバル化のためにできることのメリット・デメリットについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表しようとしている。					
3 学期	L11 What is Fair Trade? フェアトレード	【知】動名詞の用法・意味を理解している。 【思】フェアトレードのメリット・デメリットについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表している。 【学】フェアトレードのメリット・デメリットについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表しようとしている。					
	L12 Helping to Fight Poverty 貧困のない世界へ	【知】不定詞（副詞用法）の用法・意味を理解している。 【思】貧困のない世界について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表している。 【学】貧困のない世界について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表しようとしている。					
使用教材 （教科書・ 副教材）	教科書：「be Logic and Expression III Clear」（いづな書店）、副教材：単語帳「Database4500」（桐原書店）、参考書「Vision Quest 総合英語」（啓林館）、文法・語法「スクランブル英文法・語法」（旺文社）、リスニング教材「Hyper Listening」（桐原書店）、Listening Coach（いづな）、Steady Steps to Writing「英語構文ワーク」（数研出版）、システム英作文本（桐原書店）						
学習方法	予習・授業・復習のサイクルの徹底。週末課題の活用。						
評価方法	(知) 考査・授業時の観察（ノート・レポート等）・スピーキングテスト、ライティングテスト (思) 考査・授業時の観察（ノート・レポート等）・ディスカッション、ディベート、スピーキングテスト、プレゼンテーション (学) 考査・授業での観察（ノート・レポート等）・リスニングテスト						